

制度が変わる今、支援もアップデートする。
学ぶだけでは終わらない、支援が変わる休日の2時間



講師：

若尾 文彦 先生

国立研究開発法人国立がん研究センター
がん対策情報センター本部・副本部長

学び、考え、語り合い、支援の基盤をともに育てる
第2回 ブリッジ両立支援勉強会

がん対策の第一人者から学ぶ 「攻めの予防医療」

2026

9/6 日

10:00-12:00

開催方法 オンライン Zoom

参加費

▶ ブリッジ会員：無料
▶ 一般：2,000円

定員

24名

高市政権の施政方針演説において「攻めの予防医療」が打ち出され、がん対策にも影響が及ぶこととなります。企業にとってはがん検診の推進がこれまで以上に求められることになるでしょうし、もちろん医療機関にとっても無縁ではありません。がん対策基本法が成立して20年、ずっと一線でがん対策をリードし続けてきた若尾文彦先生から「がん予防」の動向についてお話を伺います。医療、企業、支援のそれぞれの立場で何をすべきなのかを考えるまたとない機会です。現場での支援をより良くするための“次の一歩”をともに考え、語り合しましょう。



現場経験からの
講義で学ぶ



多職種の対話で
多角的な視野を得る



共有による気づきを
現場で活かす

お申込み・詳細は
こちらから→

申込締切：8/31（月）



こんな方におすすめ

- ✓ 両立支援に関心がある・携わっている方
- ✓ 産業医の視点から、現場に必要なことを学びたい方
- ✓ 法改正を踏まえて、企業としての対応を整理したい方
- ✓ 医療から企業への連携に難しさを感じる方
- ✓ 多職種の支援者で意見交換し、支援の質を高めたい方



仕事と治療の両立支援ネット

一般社団法人仕事と治療の両立支援ネットーブリッジ

〒464-0075 名古屋市千種区内山3-26-16 プロクシ千種11C

✉ toiwase@bridge-nagoya.jp



ブリッジは、医療・労働の
現場と連携し「治療とともに
働く」を支援する団体です
活動はこちらから→



講師紹介

ご略歴 1986 3 横浜市立大学医学部卒業
1986 6 横浜市立大学医学部付属病院臨床研修医
1988 6 国立がんセンター病院 レジデント（放射線診断）
1991 6 国立がんセンター病院 がん専門修練医（放射線診断）
1992 7 国立がんセンター中央病院 放射線診断部医員
1998 4 国立がんセンター中央病院 放射線診断部医長
2006 10 国立がんセンターがん対策情報センター センター長補佐併任
2012 3 国立がん研究センターがん対策情報センター センター長
2021 9 国立がん研究センターがん対策研究所事業統括
2023 4 国立がん研究センターがん対策情報センター本部 副本部長

著書 「患者必携 がんになったら手にとるガイド 普及新版」
(共著) 「もしも、がんが再発したら [患者必携] 本人と家族に伝えたいこと」
「国立がん研究センターのこころと苦痛の本:こころと体のつらさを和らげるためにできること」
「国立がん研究センターのがんとお金の本」



若尾文彦先生

国立研究開発法人
国立がん研究センター
がん対策情報センター本部
副本部長

01

ブリッジ両立支援 勉強会について



医療・企業・支援職など異なる立場の専門職が集い、両立支援を学び・考え・語り合う場です。それぞれの現場で感じている課題や悩みを持ち寄り、多角的な視点から支援のあり方を探ります。(年3回)

02

「攻めの予防医療」 とは



2025年10月の高市早苗首相の所信表明演説で掲げられた医療政策の柱で、データヘルスやがん検診・歯科検診の推進などを通じて健康寿命の延伸を図り、社会保障制度の支え手を増やす取り組みです。

03

多職種で学ぶ意味



支援は一ヶ所だけでは完結しません。医療は「治療」を、企業は「働く場」を、支援職は「つなぐ役割」を担い、それぞれが異なる前提や価値観を持っています。相互理解が、より現実に即した支援につながります。

この勉強会で得られること



医療と労働の
視点理解



支援の見直し
のヒント



現場の課題を
共有



多職種との
つながり

一人で抱える支援から、つながりの中で支える支援へ



ご一緒に支援の質を高めましょう！ お申し込み・詳細はこちらから→

